

栗田アルミ工業 株式会社 （製造業）

＜「人材」は「人財」：ベテランによる技術の伝承、“多能工”の育成、働きやすい環境の整備＞

◆ダイバーシティ経営の背景

- ・ 2004年、「IT化経営戦略」を立案、経営理念や経営課題を明確にし経営の見える化を実践していく中で、社員一人ひとりが共通認識を持ちながら会社に貢献する風土が醸成されてきた。障がい者の受け入れをきっかけに、高齢者や外国人など社員一人ひとりの能力を活かす取組を推進している。

◆取組内容

- ・ 当時の社長(現会長)が毎朝社員を挨拶で出迎えるなど、社員を何より大事にしている。社長(現会長)のスローガン「社員は財産」、「財務リストラはするが人材整理は絶対にしない」、「6Sの徹底」(5S+スピード)、「継続的収益確保(黒字決算確保)」、「技術力向上」、「不良低減」、「企業理念の浸透」は、社内の至るところに掲示され、社員の目にとまるようになっている。
- ・ 就業規則で「70歳継続雇用」や「教育研修」「自己啓発」費用の会社負担等が定められている。ベテラン技術者(現在最高齢者男性75歳、女性66歳)が重要な役職に就き技術の継承に貢献するとともに、若手技術者には“オールラウンドプレイヤー”(多能工)となるべく社外セミナーや通信講座受講の費用を全額会社が負担、他にもシスアドや社会保険労務士、第一種衛生管理者資格の取得など社員(パートタイマー含む)のスキルアップを実現している。
- ・ また、県内の施設から受け入れた障がい者も、金型修理・熱処理・機械加工など現場で活躍している。コミュニケーションをはかるために、「技術開発記録ノート」を作り現場のチーフとやり取りしている。10年以上続けている取り組みで、自律に向けた考え方なども合わせて記載している。
- ・ 短時間勤務や出勤日数調整など、個々の事情に応じた働き方を推奨している。

◆成果

- ・ 高齢者、障がい者、育児休業復職者、外国人、パートタイマーなど、社員それぞれに合わせた技能開発や就業形態の柔軟化が実現され、社員のモチベーション向上につながっている。
- ・ また、70歳継続雇用の実現や社員の多能工化によってスムーズな技能伝承が可能となっているほか、フレキシブルな勤務形態等が根付いていたことによって、2008年リーマンショックや2011年大震災後も解雇を行うことなく、業績回復につなげることに成功した。

＜企業概要＞

設立年	1957年	資本金	50百万円
本社所在地	茨城県土浦市北神立町4-5		
事業概要	自動車等エンジン・ミッション等アルミ部品の鋳造から機械加工・一部組み付け		
売上高(※)	3,344百万円 (※)直近決算期(2012年10月)		

＜従業員の状況(単体)＞

総従業員数	216人(うち非正規65人)
属性ごとの人数等	【女性】58人(うち非正規40人)、女性管理職比率1.0% 【外国人】34人 【障がい者】8人 【65歳以上】11人
正規従業員の平均勤続年数	男性13年 女性12年